徳島市民病院
地域医療連携だより
平成24年 8 月号

〒770-0812　徳島市北常三島町２丁目34番地　徳島市民病院　地域医療連携室
Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

徳島市民病院の理念
「思いやり・信頼・安心」

当院では、職員を対象とした医療勉強会を毎週金曜日に実施しています。様々な分野から幅広い内容での勉強会を開催しており、今回はその中の一部をご紹介いたします。

おむつの使用方法について

皮膚・排泄ケア認定看護師　井筒　聖子

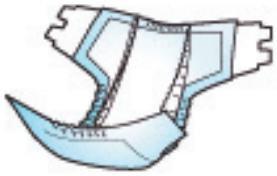
私たち看護者は普段なにげなくおむつ交換を行っています。はたして今行っているおむつ交換がおむつの特徴を活かして有効な交換が行われているのでしょうか。そこで、今回快適で漏れる心配のないおむつ交換が行えるように、おむつの特徴を理解して有効な交換方法を習得して毎日のケアに活かして頂きたいと思います。

まず知っておきたいのは、おむつの種類です。おむつには、大きく分けてパンツタイプとテープ式があります。さらに、それらと組み合わせて使う尿とりパットがあります。それぞれ患者の自立度によって適切なおむつの種類を選択することが重要となります。

〈パンツタイプ〉

特徴…普通の下着と同じ形なのでなじみやすく、自分で着脱しやすい。テープ式よりもむれにくく、症状によっていろいろなタイプがある。

〈テープ式紙おむつ〉



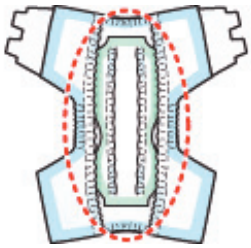
特徴…テープをとめて身につけるタイプで、寝ている状態で介護者が交換しやすく、パンツタイプに比べて寝ている状態で漏れにくい。

使用方法…①使用する前に立体ギャザーをしっかり立てておく　②体を横向きにしておむつのテープが体につかないように折り、おむつの中心を背中の位置に合わせるように置く　③体をゆっくり仰向けにして、おむつの立体ギャザーが脚の付け根に沿うように引き上げる　④下のテープを斜め上向きにとめ、次に上のテープをやや下向きにとめる（体のラインに合わせること）

〈パットタイプ〉

特徴…テープ式やパンツタイプのおむつの中に入れて使用する。パットだけの交換ができ、簡単で経済的である。尿量によって様々な大きさのパットがあるため、個々にあった大きさを選択する。

使用方法…①テープ式紙おむつの立体ギャザーの内側にパットを入れる



②テープ式紙おむつと同じく体を横向きにして、おむ

つの中心を背中の位置に合わせて置く　③体をゆっくり仰向けに戻して、パットの立体ギャザーを脚の付け根に沿うように引き上げる　④上からテープ式紙おむつの立体ギャザーを脚の付け根に沿わしてテープをとめていく

＊プロのコツ…

①横から尿がもれないように立体ギャザーが付いているものは、パットの端と端を持ってピンピンと引っ張ると自然にギャザーが立ってきますので、しっかり立体ギャザーを立てて使用する。

②長時間用の大型のパットを使用する場合、女性は広い方を後ろに、男性は広い方を前にしてあてると効果的である。

〈パットタイプ・（フラットタイプ）〉

特徴…長方形の形で、立体ギャザーがついていない。テープタイプやおむつカバーの中に入れて使用する。（必ず、立体ギャザーの中に入れて使用すること）

＊プロのコツ…

①尿とりパットとして使用するのではなく、おむつ交換や陰部洗浄時の時の漏れ防止に使用できる

②ポータブルトイレの下などに敷いたり、あらゆるところで汚れ防止に使用できる

おむつ交換や陰部洗浄のときのモレ防止に。

ポータブルトイレの下に敷いて、汚れ防止にも使えます！

〈パットタイプ・（軽失禁タイプ）〉

特徴…薄型でコンパクトのため、目立ちにくく動きやすい。くしゃみや咳など、腹部に力を入れた時の軽い尿漏れに使用する。生理用ナプキンとは違い、水分の多い尿をしっかり吸収し閉じ込める。

《肌トラブルを予防するために》

おむつ交換時のポイント

1. 肌の変化を見逃さないこと

　赤くなった部分があったら、褥瘡の初期段階のおそれがある。おむつ交換時には、必ず肌のチェックをする

2. 陰部の清潔を心がける

　1日1回、尿路感染症や褥瘡を予防するために、陰部洗浄を施行する

《おむつを使用するときのポイント》

1. 患者の体型にあったおむつを選択
2. 「多重使い」をしない
   - 通気性のあるおむつやパットを選んでも、漏れが心配だからといって、何枚も重ねて使っては全く意味がない。
   - 寝たきりの場合は大変不快なばかりか、不自然な姿勢になって大きな体圧がかかり、褥瘡になるおそれがある
   - 重ねたことによって、おむつと身体との間に隙間ができて、かえって漏れやすくなってしまう
   - おむつと尿とりパットを併用する場合は、交換頻度と患者の尿量にあわせて通気性のあるもの同士1枚の最も効果的な組み合わせで使用する

3. おむつをむやみに引っ張ることは避ける
   - おむつを身体の下に敷いた状態で引っ張ると、摩擦で肌に傷がつきやすくなるため注意する

　これらの注意点をふまえて、看護者は患者さんにとって心地よいおむつ交換ができるよう、また、患者さんのご家族におむつの使用方法や種類について適切な情報を提供できるように、基本的なおむつ交換方法を習得していく必要があります。患者さんが快適な療養生活が送れるよう、日々のケア方法について再確認して頂ければと思います。

徳島市イメージアップキャラクター（トクシィ）

徳島市民病院【地域医療連携だより】　平成24年8月号

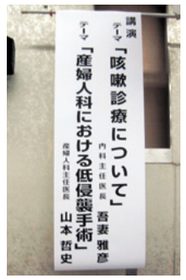
平成24年度 徳島市民病院と共同診療登録医との講演会と懇親会

　平成24年7月5日（木）、阿波観光ホテルにおいて平成24年度徳島市民病院と共同診療登録医との講演会と懇親会を開催しました。前半の講演会の部では、当院の内科主任医長吾妻雅彦医師が「咳嗽診療について」、また、産婦人科主任医長の山本哲史医師が「産婦人科における低侵襲手術について」を講演しました。

　地域の連携病院から約50名の先生方にご出席いただき盛大に会を開催することができました。

　また、後半の懇親会の部は当院の医師と連携病院の先生方との有意義な交流の場となりました。

　各医師会からたくさんの先生方にご出席いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



平成24年度 緩和ケア研修会のご案内

　平成19年施行のがん対策基本法に基づくがん対策基本計画において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが、求められています。これを受け、厚生労働省の開催指針に沿った緩和ケア研修会を開催いたしますので、ご参加ください。

【日　　時】 平成24年8月26日（日）9:30 ～ 17:10
平成24年9月 2日（日）9:30 ～ 17:10（全2日間）

【場　　所】 徳島市民病院　地下1階　講義室

【対 象 者】 がん診療に携わる医師（定員12名）

【申込〆切】 平成24年8月17日（金）
※定員がいっぱいになり次第、申込受付を終了させていただきます。

【申込方法】 電話または電子メールで受講希望の旨をご連絡ください。
折返し、申込書等を送らせていただきます。

【申 込 先】 徳島市民病院医事課
TEL：（088）622－5121（内2103）
E－mail：iji@hosp.tokushima.tokushima.jp

トリアージ訓練実施しました

当院は、徳島県より「徳島DMAT指定病院」に指定され、災害派遣医療チーム（DMAT）の出動に関する協定を締結しています。これらを受け、今まで以上に災害時の対応の強化に取り組んでおり、さらに、近年予想されている東南海・南海地震に備え、平成24年6月23日（土）に負傷者に対するトリアージ訓練を行いました。

－訓練想定－
- 徳島県を震源とする震度６弱の直下型地震が16時30分に発生
- 津波の危険はないが、市内を中心に県内各地で甚大な被害が発生
- 病院建物の被害は、外壁がはがれる等の損傷はあるが、機械維持には支障がない状態。内部は揺れのため多少の物品の破損がある

〈ライフライン状況〉
水道管は保たれている
電気の供給は断たれるが、自家発電装置に切り替え院内に供給されている
院内のガス配管（医療ガス含む）は無傷
病院情報システムは使用不能
電話はPHSのみ使用可能

対策本部

トリアージポスト

緑エリア

黄エリア

統計コーナー

診療科別「地域医療支援病院」の紹介率・逆紹介率

科　名	5月							4月		3月	
	初診患者数（人）	初診時間外（人）	初診紹介患者（人）	初診即入院（人）	逆紹介患者（人）	紹介率（%）	逆紹介率（%）	紹介率（%）	逆紹介率（%）	紹介率（%）	逆紹介率（%）
内　科	400	211	120	44	91	65.3%	45.0%	68.5%	42.1%	65.8%	37.6%
小児科	324	193	78	74	46	57.0%	30.9%	68.8%	36.9%	61.4%	34.5%
外　科	184	56	100	11	96	78.0%	72.7%	80.0%	56.7%	84.0%	55.1%
整形外	311	78	164	16	238	71.1%	99.6%	73.5%	101.4%	73.4%	107.0%
形成外	3	0	3	0	2	100.0%	66.7%	－	－	0.0%	300.0%
脳神経	105	12	52	6	67	56.4%	71.3%	59.7%	85.1%	59.0%	77.1%
皮膚科	71	15	16	4	2	28.6%	3.6%	37.0%	9.3%	51.1%	13.3%
泌尿器	38	5	20	2	19	60.6%	57.6%	66.7%	63.9%	58.0%	48.0%
産婦人	87	24	51	7	24	75.0%	35.3%	56.5%	37.7%	72.9%	48.6%
眼　科	12	5	3	0	6	42.9%	85.7%	28.6%	21.4%	38.1%	28.6%
耳鼻咽	15	2	2	0	7	15.4%	53.8%	35.3%	100.0%	23.8%	47.6%
放射線	85	0	84	0	101	98.8%	118.8%	100.0%	114.9%	100.0%	120.6%
合　計	1,635	601	693	164	701	66.8%	64.8%	69.1%	62.5%	68.8%	61.3%

平成24年5月の紹介患者数（再診患者を含む）
313医療機関より1000名ご紹介いただきました。
ありがとうございました。